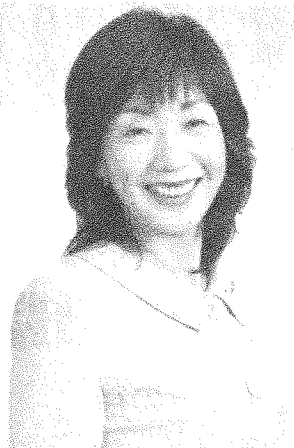


# 運送業界の健康支援を生きがいに

## 159 秋の交通安全運動に際して



私は最近、各新聞社から「秋の交通安全運動」を目前に、様々なコメントを求められることが多くなりました。それは、点呼時における睡眠時間の義務化、定期健康診断のフォローアップ手法など、おそらく当法人の事業に付随しているからだと思います。今月は、そのコメントの中から、改めてではありますが、「ドライバーの健康管理」について、私の考え方をお伝えしたいと思います。

国交省等の統計では、健康起因事故件数、死亡件数とも脳・心臓疾患がトップを占めています。それ以前に決まっていますが、それ以外の要因としてはいけませんが、それらの誘発原因ともいえる、肥満・高血圧・脂質異常・糖尿病などを併せ持つ、ハイリスク者の人たちです。これらの疾患は、複合的に絡み合っている、合併症を引き起こし、動脈硬化や、じん不全、肝障害等さえも発症させます。

### ◆ハイリスク者の把握を

全ト協事業でもあり、当法人が推進している「運輸ヘルスケアナビシステム」に基づく有所見率は、肥満47%、高血圧46%、脂質異常66%、血糖値43%となっていて、驚くほど高い数値を示しています。さらに、これらの項目の3点、4点を併せ持つハイリスク者が、全体の16%であることも、システムにより浮上

しました。また憂慮すべきは、ハンドルを握るドライバーの有所見率が、ドライバー以外の職種より、これらの項目すべてにおいて高いことも判明しました。

### ◆全ト協事業の有効活用を

各都道府県のトラック協会では、そろそろ巡回バスによる秋健診がスタートします。行政指導も強化され、「全員受診が精いっぱい」の事業者もまだまだ多いかとは思いますが、次のステップは、まず健診結果をよくご覧いただくことです。ハイリスク者がいないかどうかの確認、そしてさらに次のステップは、対象者への受診勧奨なのです。断言できることは、ハイリスク者が見えない限りフォローアップは不可能です。全ト協では、「ハイリスク者の見える化」を目的とした「運輸ヘルスケアナビシステム」事業を今年度スタートさせました。ぜひ、これらの支援事業を有効に活用され、「ドライバーの健康管理」を行って

《全日本トラック協会 SAS 検査受託機関》  
NPO 法人 ヘルスケアネットワーク (OCHIS)

副理事長 作本 貞子

「安全と健康を推進する協議会(両輪会)」代表  
国土交通省健康起因事故対策協議会委員

TEL : 06-6965-3666

FAX : 06-6965-5261

東京オフィス TEL : 03-3295-1271

E-mail sakumoto@ochis-net.com

HP <http://sas.ochis-net.jp/>

ください。

(次回は10月8日号に掲載)